

報道発表資料  
平成24年7月20日  
気象庁

平成24年7月九州北部豪雨で被害を受けたアメダスの  
復旧作業について

大分県の椿ヶ鼻（ツバキガハナ）地域雨量観測所につきましては、平成24年九州北部豪雨の大雨の影響により観測所の法面が崩壊したため、7月17日18時30分より運用を休止しております。

気象庁では、7月23日に可搬型の観測機器を臨時に設置して、運用を再開する予定ですので、お知らせします。

本件に関する問合せ先：気象庁観測部観測課  
03-3212-8341（内線4132）

## 椿ヶ鼻地域雨量観測所の所在地と装置の概要

○観測所の位置：大分県日田市前津江町大野字ウスギ（赤丸で位置を示す）



### ○装置の概要



ソーラーパネル

通信機器  
バッテリー

転倒ます型雨量計

- ・ 観測したデータを携帯電話通信網により、リアルタイムで伝送し、雨量の監視を行う。
- ・ 電源はバッテリーとソーラーパネルを併用。
- ・ 写真は宮城県東松島の臨時雨量観測所